

上士幌町
人口ビジョン・総合戦略策定委託業務
事業所ヒアリング調査 集計

(最終版)

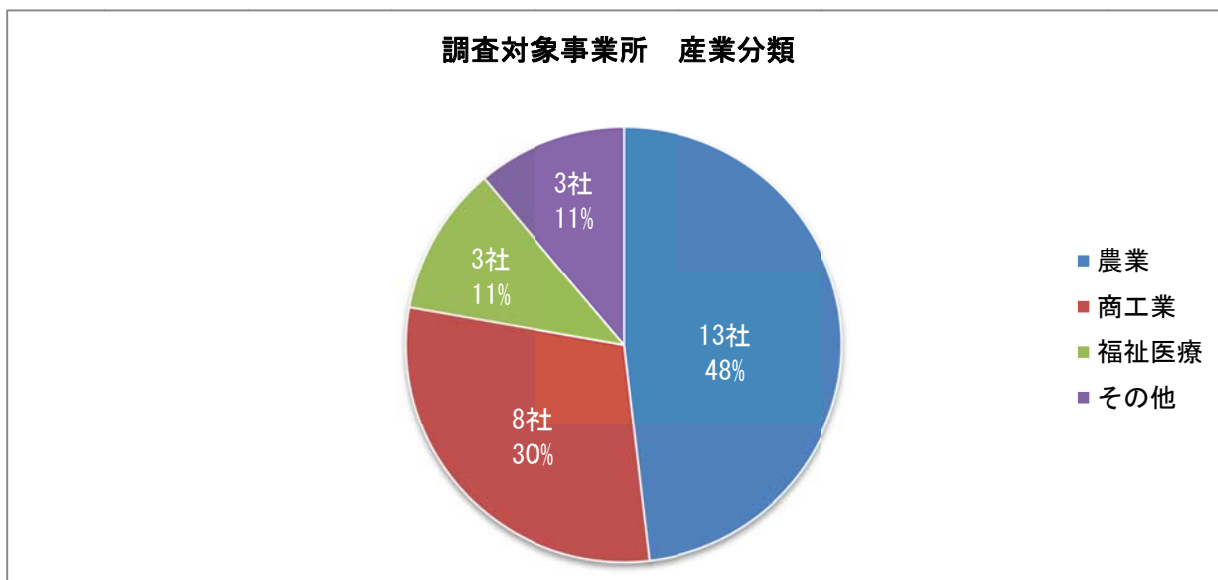
0. 調査概要

抽出事業所数：33 事業所

調査実施事業所数：27 事業所

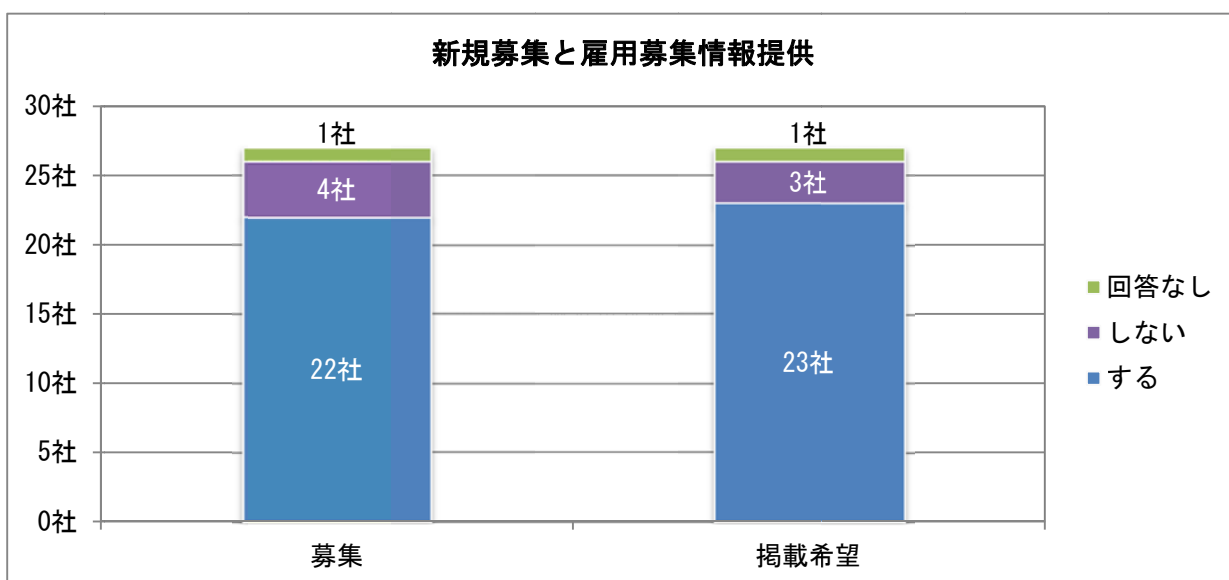
調査期間：平成 27 年 7 月 14 日（火）-28 日（火）

1. 事業所の業種（複数回答）



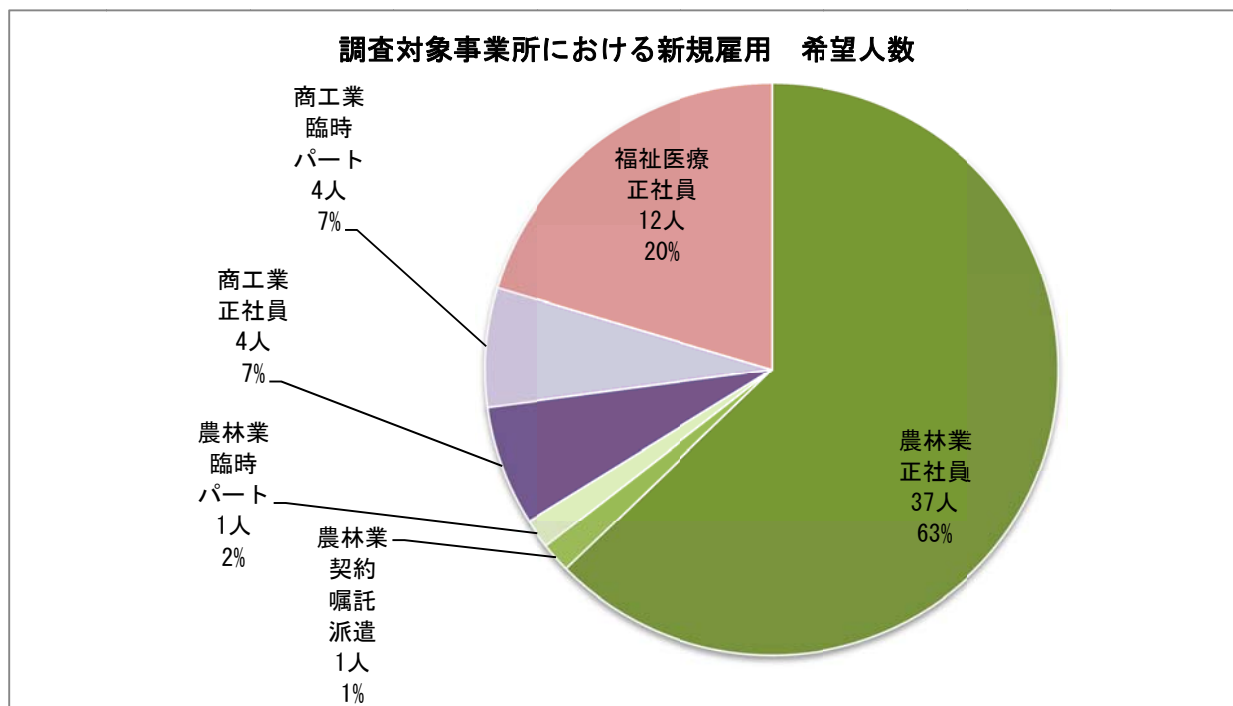
2. 新規採用と町の雇用情報への掲載希望

新規募集の事業所が多く、全てが町の雇用情報に掲載を希望している。



3. 新規雇用 希望人数

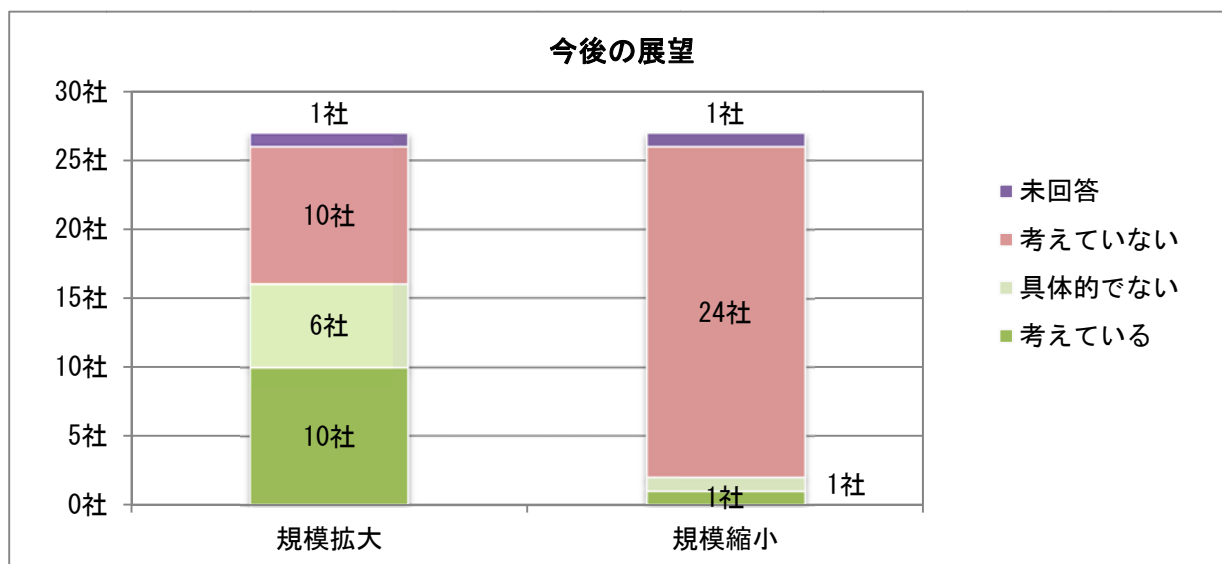
新規募集の人数は農林業の正社員が最も多く、6割を占めている。続いて、福祉医療の正社員で20%となっている。



3. 今後の展望

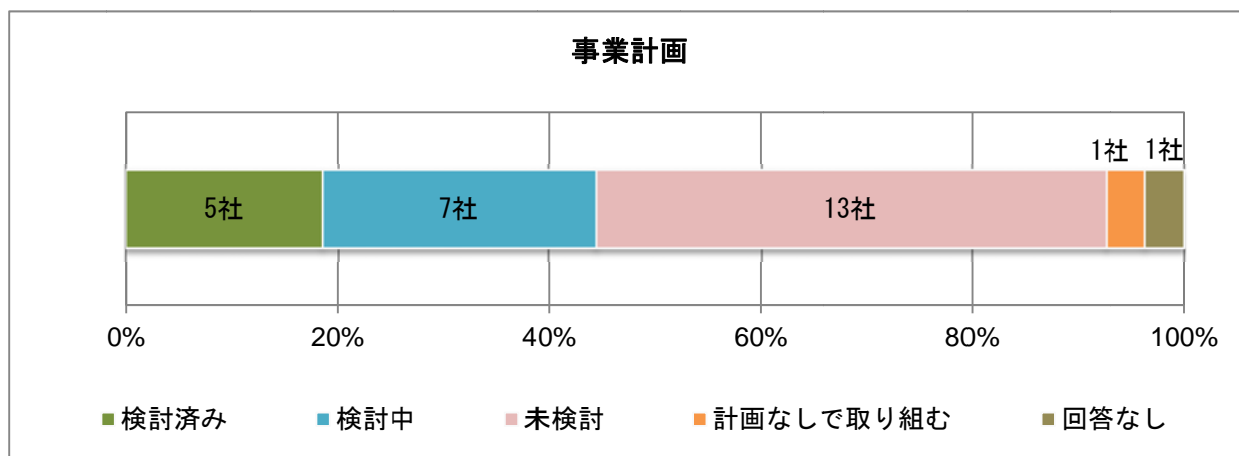
規模拡大（新規事業）への意欲がある事業所が多く 15 事業所となっている。

規模縮小は 2 事業所が検討している。



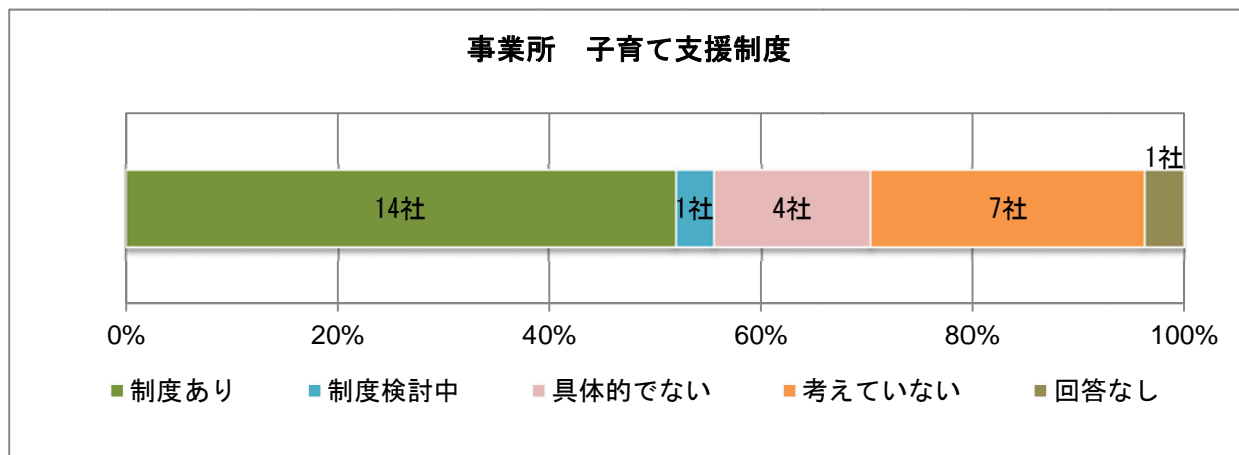
4. 事業計画

規模拡大（新規事業）への意欲がある事業所のうち、事業計画を既に検討している事業所は 20%程度であった。もっとも多かったのは未検討の中とした事業所で約 40%程度であった。検討中は約 30%であった。



5. 事業所としての子育て支援制度

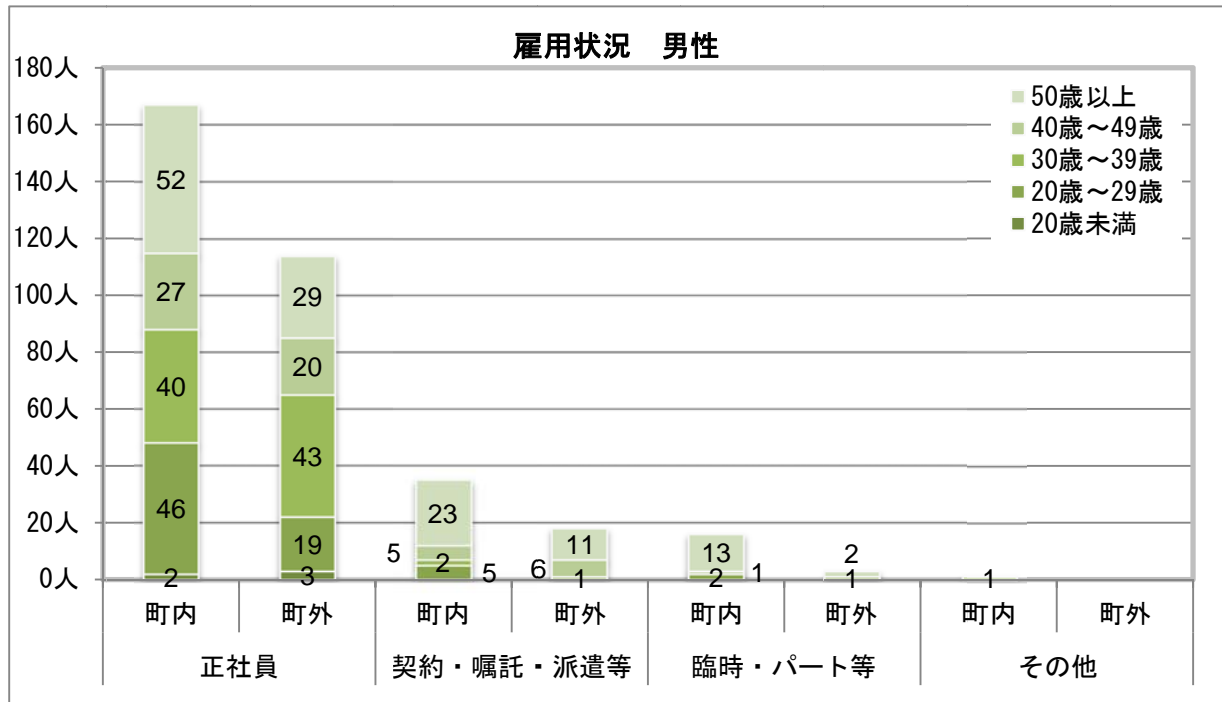
制度ありと答えた事業所のすべてが扶養手当や休暇対応であり、育休等はなかった。検討中は「女性の休暇を増やす制度と保育料を助成する制度」であった。



6. 雇用状況

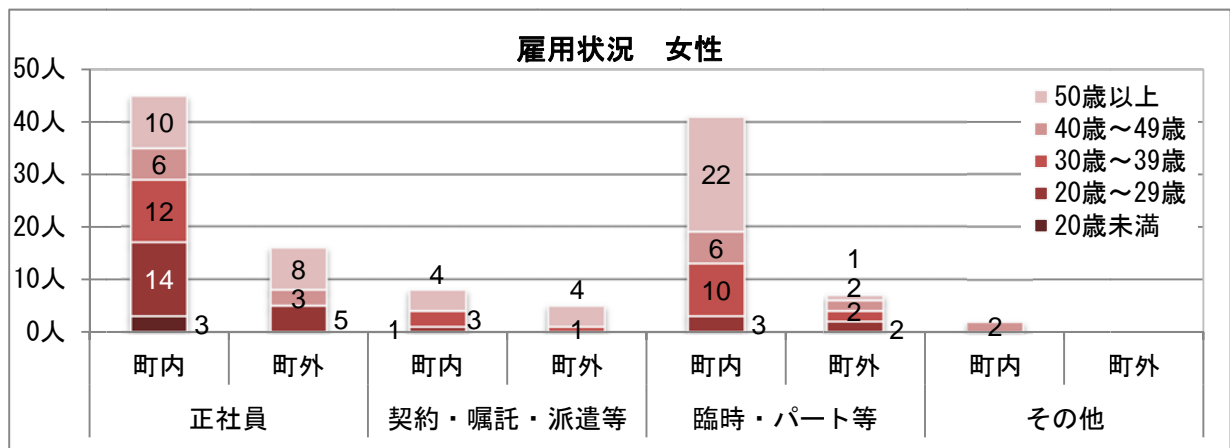
男の正社員が最も多いが、女性は臨時パートが正社員に次いで多くなっている。年齢が高くなるほど正社員の割合が少ない。

◆男性



◆女性

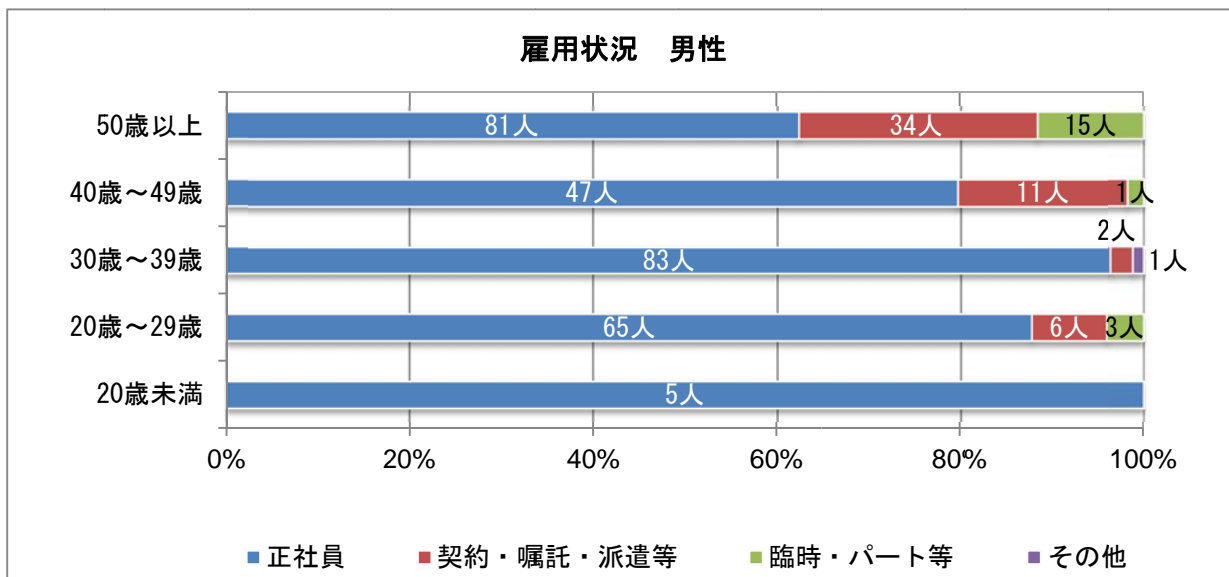
女性は男性に比較して圧倒的に正社員の割合が少なく、年齢が高くなるにつれてその傾向は顕著である。また、町外通勤者も男性に比較して少ない。



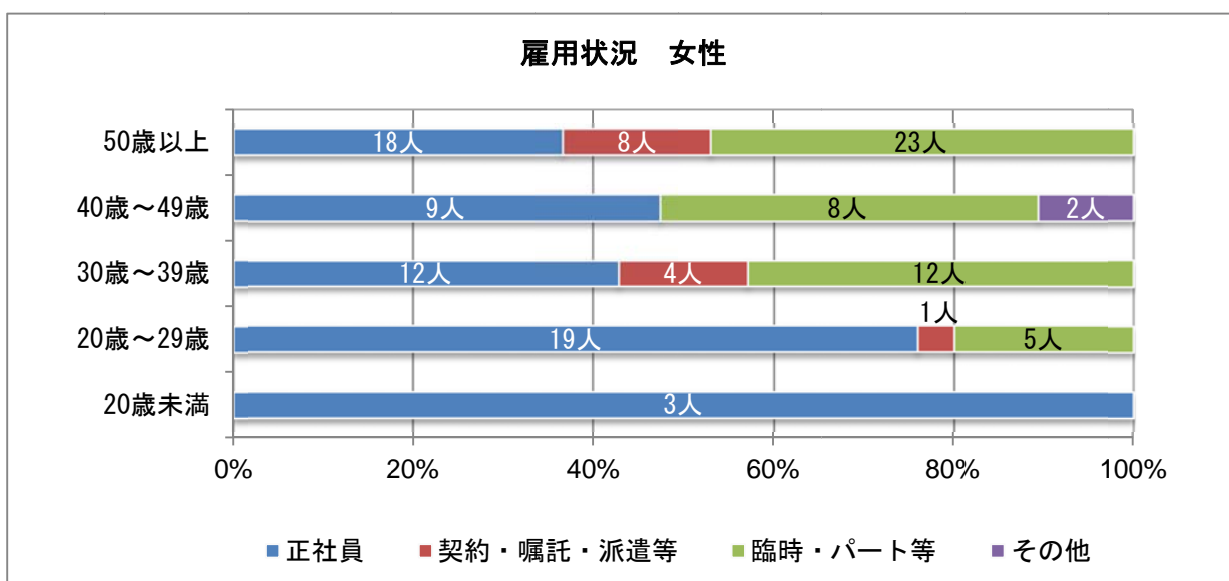
7. 雇用形態における男女差

働き手の獲得が困難な若年層は男女ともに正社員の割合が多いが、年齢が高くなるにつれて正社員の割合が低くなっており、特に子育て年齢の女性 30 歳代以上で正社員の割合が低い。

◆男性

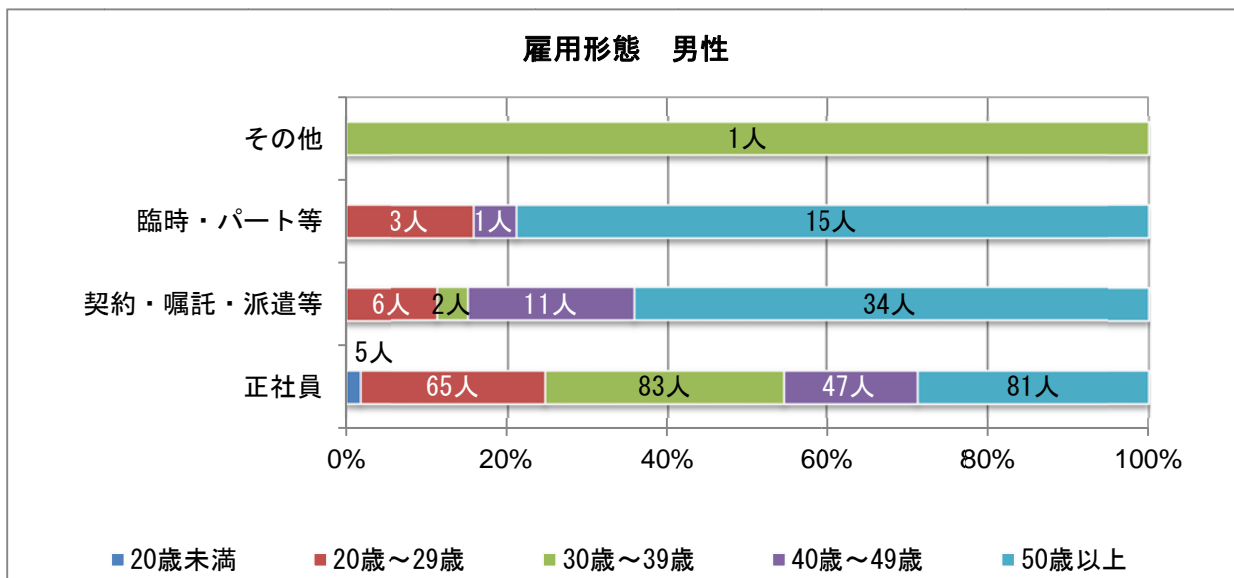


◆女性



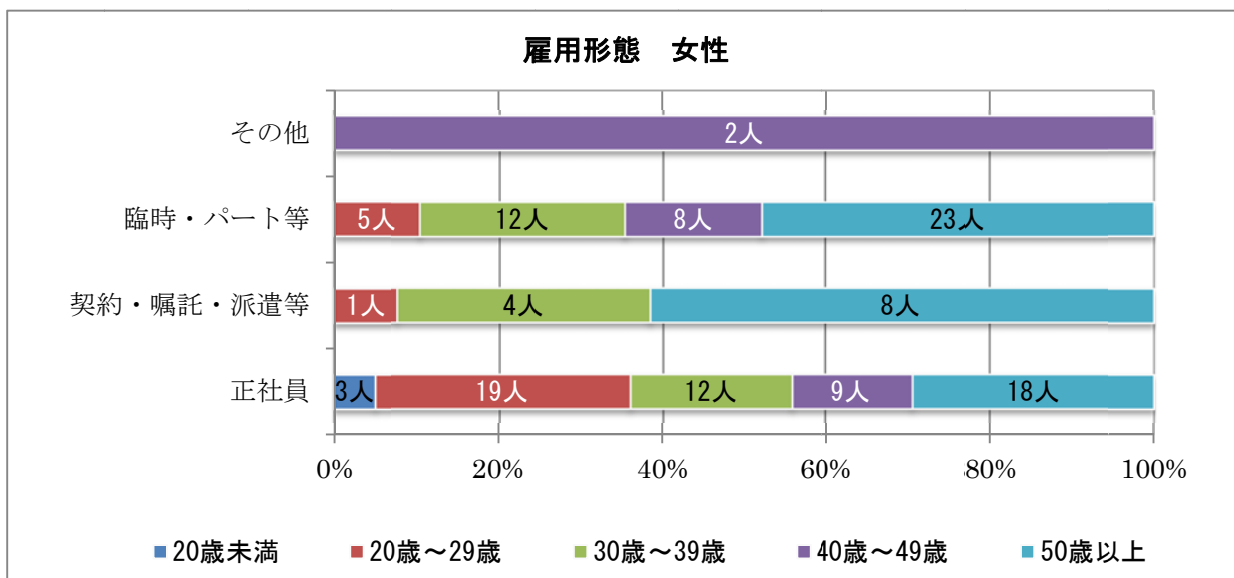
◆男性

正社員における 20 歳代の割合が他の年代に比較して相対的に低い。臨時・パートでは 50 歳代以上の割合が特に高い。



◆女性

正社員における 20 歳代の割合が他の年代と比較して相対的に低いのは男性と同様であるが、30 歳代の正社員では男性より少ない割合となっている。臨時・パートでは特に 30 歳代が 20%以上あり、また契約・嘱託・派遣等で 30 歳代が 30%程度で、これらの点で男性とは異なっている。



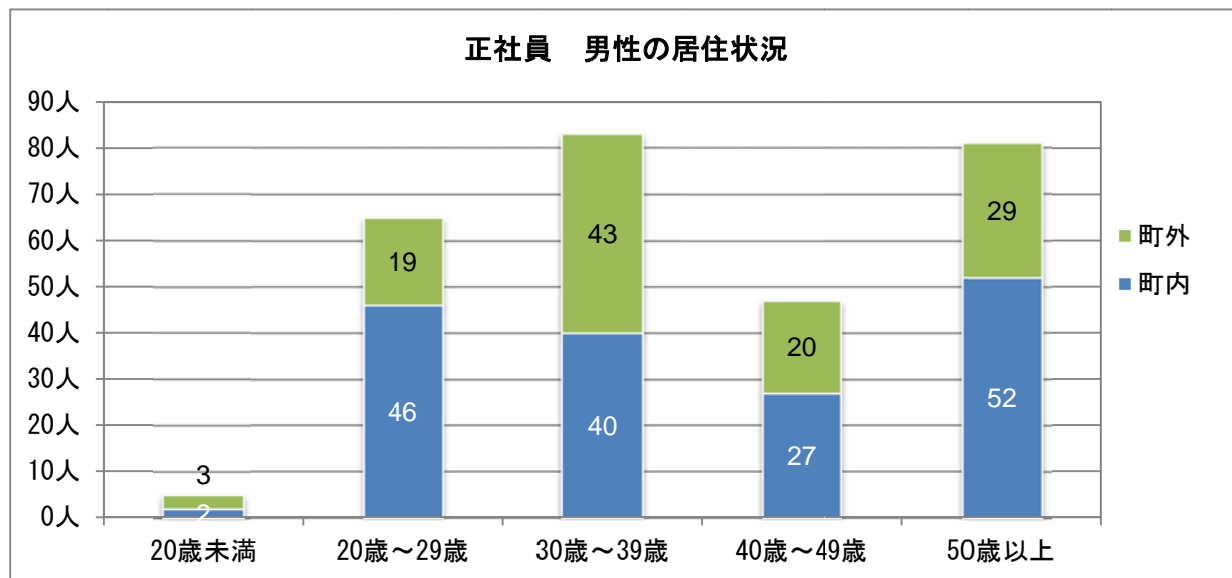
8. 町外通勤者（正社員のみ）

男性は町外通勤者が女性に比較して相対的に多く、

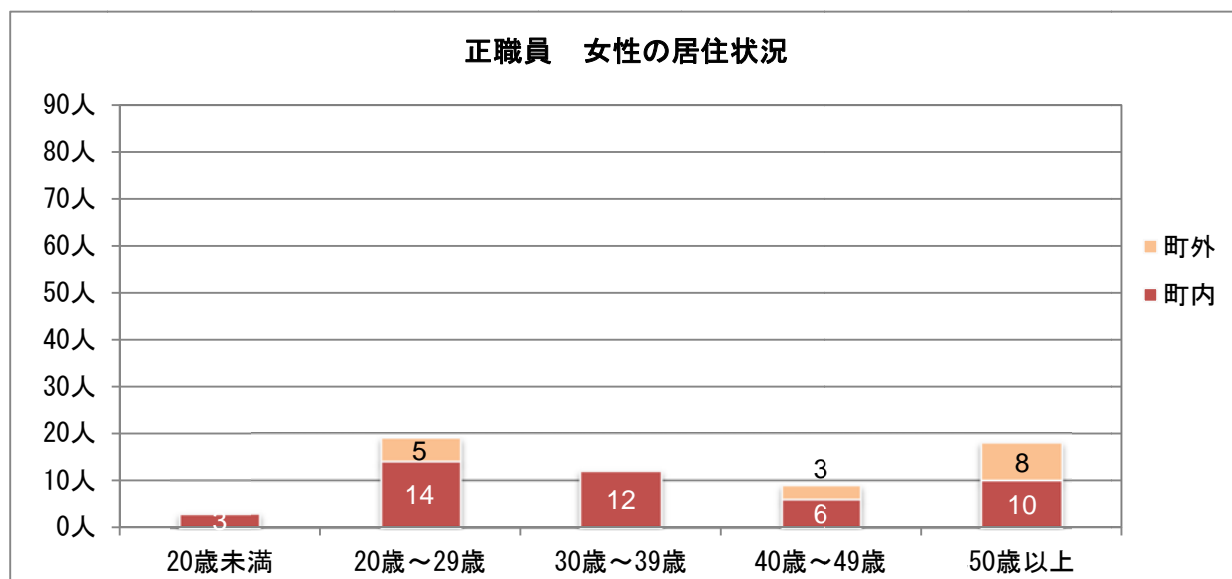
女性は男性に比較して町外通勤者が少なく、特に30歳代の全員が町内在住である。

男性50歳代は町外通勤者の割合が高く、ヒアリングからすでに持家の所有者が多いことが予想されるため、移住の可能性は低いと考えられる。

◆男性



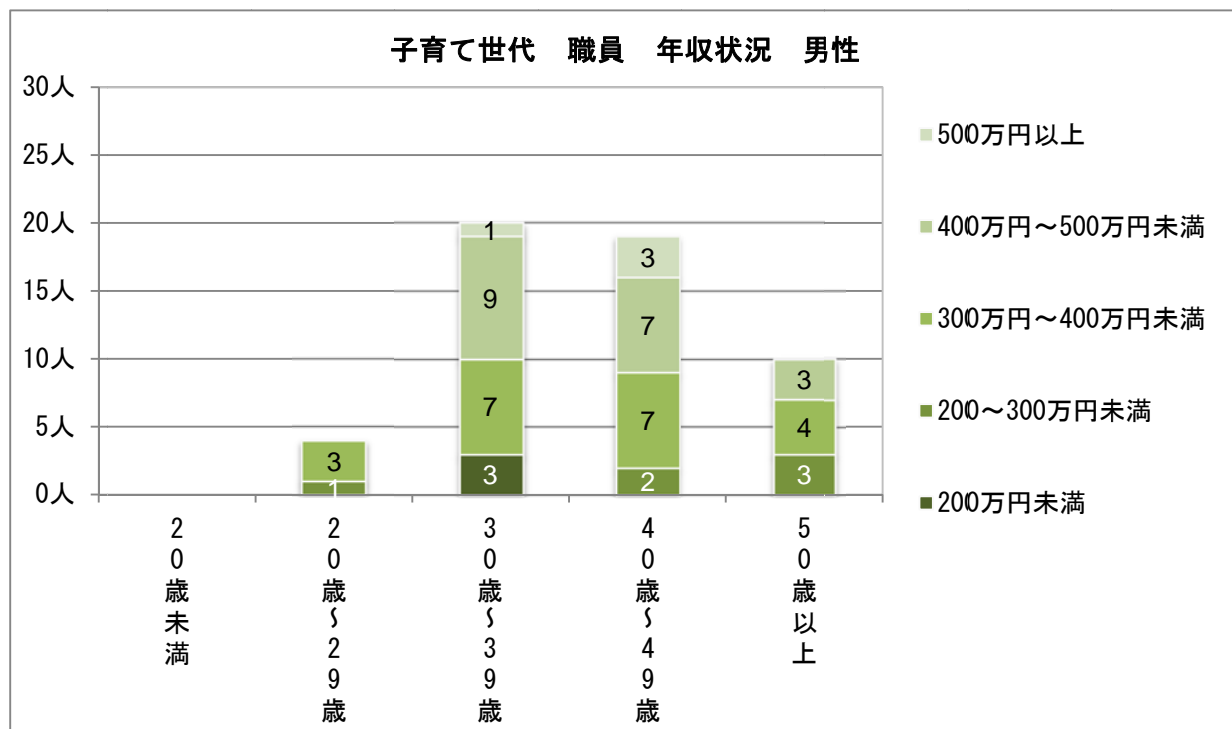
◆女性



9. 子育て世帯（18歳以下の子供を育てている世帯）の収入状況

男性では、30歳代が最も多い。その中には200万円未満が存在する一方、最も多いのが300～400万円未満で約40%程度となっており、収入格差が見て取れる。

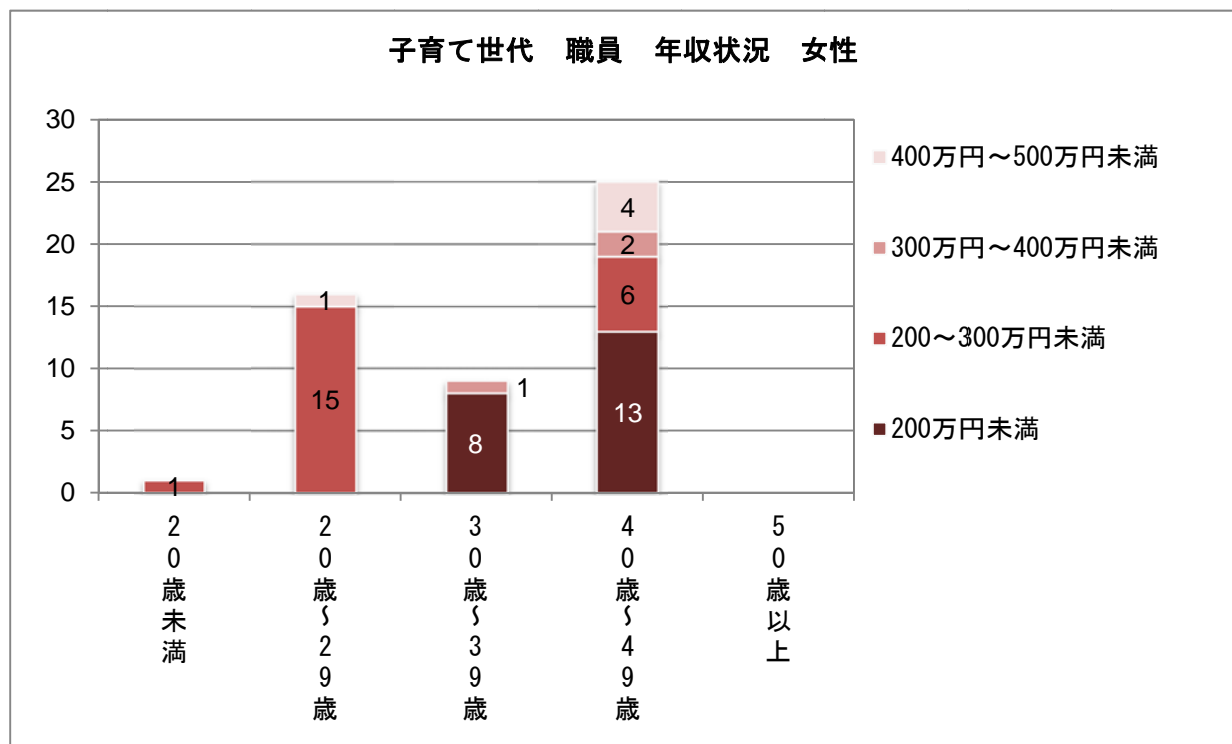
◆男性



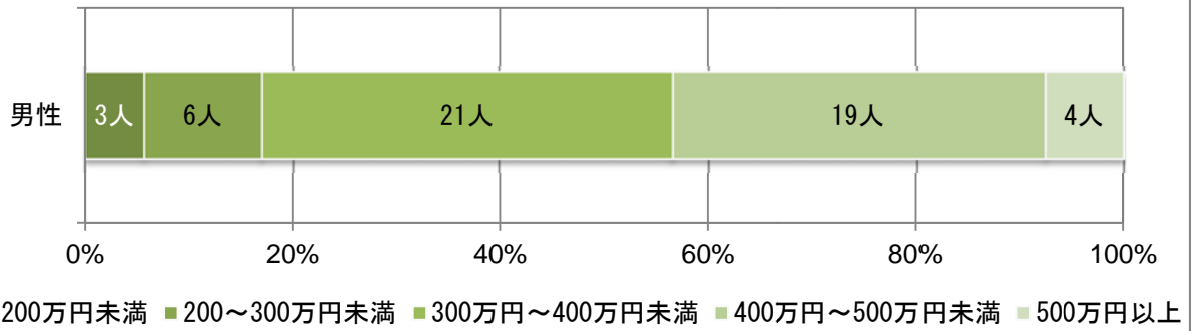
◆女性

女性は40歳代の働き手が最も多く、次いで20歳代が続いている。

200万円未満が5割程度で、400万円以上はない。



子育て世代 職員 年収状況 男性



子育て世代 職員 年収状況 女性

